

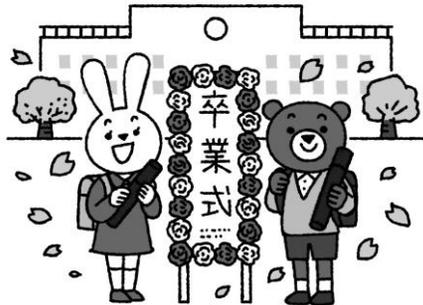
ほほえみ



桑野小学校保健室（平成31年3月4日）

・・・保護者の皆様へ・・・
1年間、学校保健活動へのご理解とご協力ありがとうございました。学校では、1～2月に多かったインフルエンザも、終息を迎えそうです。特に6年生は卒業式を迎えるこの時期ですので、引き続きお子様の健康管理の徹底をよろしくお願いいたします。

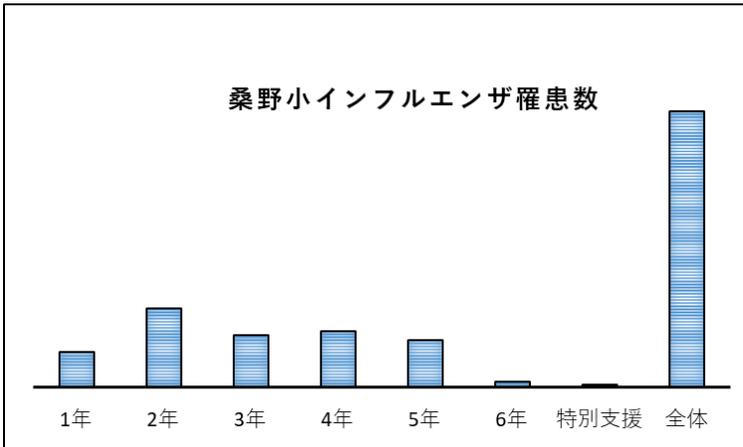
3月に入り、日差しが温かく感じられる日もありますが、まだまだ気温の低い日が続きます。そろそろ卒業や進級を迎える時期になりましたが、この1年の生活の様子はいかがでしたか。春休みは自分自身の心と体の健康について振り返り、規則正しい生活を心掛け、体調を万全に整えてほしいと思います。



新しい生活へ向かってジャンプ！！

卒業を迎える6年生のみなさん、進級を迎える1年～5年生のみなさん、おめでとうございます。1年前を思い出してみると、みなさんの心身の成長にはおどろかされます。進級、進学するみなさんは新しい生活の中で心も体もさらにステップアップし、成長していくことでしょう。そのためには、病気を寄せず「心も体も元気！」でいることがとても大切です。

今年度、本校は1月から急激にインフルエンザの流行期に入り、2月中旬までに、延べ約140人が感染しました。B型感染者は数名で、主にA型感染によるものでした。まだまだ油断はできませんので、引き続き健康管理（うがい、手洗い、湿度、マスク着用等）をよろしくお願いいたします。



耳のデコボコに「ふかい」意味がある？



わたしたち人間の耳は平らではなく、デコボコ（ひだ）がありますね。実はこのデコボコが、耳の主な役割である「音を聞く」ことに役立っているのです。

耳が体の外側に出ているのは、まわりの音を集めやすく、聞き取りやすくするためといわれています。そこにデコボコがあることで、とくに上下方向でどこから音が聞こえてくるのがよくわかるようになっています。実際に、帽子をかぶったりして耳のデコボコをおおった状態で音を聞く実験をすると、聞こえ方が変わってくるそうです。



ちなみに、左右方向からの音は、耳が左右にひとつずつあることでわかるようになっています。よくできていますよね！

学校保健委員会を開催しました

【参加者：学校歯科医、薬剤師、PTA役員、桑野小職員】
＊今年度の学校保健委員会のテーマは、2つです。

- 1 歯と口腔衛生
 - ・桑野小はむし歯罹患率はかなり高いが、年々治療率は上昇しています。
- 2 肥満傾向
 - ・学年が上がるにつれ、右肩上がりで増加しています。

この2つの課題は、同時に福島県の健康課題でもあります。そこで、「生涯教育として、子どもたちに知識を与え、判断力をつけ、それを行動できる子どもに育てていくこと」が大切であると考えます。なぜ、今、それをしなくてはいけないのか、子どもたちに伝えながら…。

☆学校医歯科医、薬剤師より

・子どもたちの口腔内が年々きれいになってきている。歯医者に通える環境整備が大切である。フッ素や溝充填など、むし歯予防について歯科医に相談してみるとよい。

★PTA代表より

・口腔内の衛生や食事、栄養のバランスなど、親子一緒に話を聞く機会があれば、親と子が同じ認識で家庭でも会話ができるのではないかなと思われる。

災害共済給付金制度について

学校管理下での「けが」については、日本スポーツ振興センターの災害共済給付金制度を利用すると、医療費の給付が受けられます。医療機関に提出する「医療等の状況」用紙は、お手元に配付されていますか。用紙が配付されていない場合には、担任までご連絡ください。

また、給付金支払い請求には時効があり、「けが」が発生してから2年間です。それ以降は手続きができなくなりますので、早めに提出をお願いいたします。



昼の歯みがきに使用する歯ブラシの衛生管理を1年間ありがとうございました。歯ブラシの毛先は雑菌が繁殖しやすいので、引き続き管理をお願いします。また、春休みには毛先のチェックを行い、適宜交換をお願いします。